

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 642 2021年 4月号 1部60円 友の会会員は会費に含まれています 発行 東京勤労者医療会代々木病院 院長 河邊 博正 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7 TEL 03(3404)7661 http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi

患者さんの願いに寄り添い 生きる希望をつなぐ看護

看護介護活動交流集会(WEB)発表事例より

1月30日、東京勤労者医療会は法人看護介護活動交流集会をWEBで開催しました。東葛病院をメイン会場、代々木病院など各事業所をリモート会場として行いました。事業所からの活動報告として、当院回復期リハビリ病棟が「話せるようになりたい」願いに寄り添い、意欲向上につなげられた事例」を報告しました。発表事例をご紹介します。(編集部)

若年層で脳血管疾患の罹患率が増加

近年、国内において若年層の脳血管疾患の罹患率が増加しています。当院回復期リハビリ病棟(以下、回リハ病棟)で

40代男性、脳出血後のリハビリ目的で入院

入院されたAさんは未婚で独居の40代の男性です。高校卒業後、美術系学校へ進学、アルバイトで生計を立てていました。警備員の仕事をしていたとき、貧血で倒れ仕事が出来なくなりうつ病を発症、その後、生活保



「話せるようになりたい」事例発表を行う代々木病院回復期リハビリ病棟の看護師



今年はWEB開催の看護介護活動交流集会。東葛病院をメイン会場、代々木病院など各事業所がリモート会場として参加しました。

八病棟に入院となりました。

文字盤による発語訓練の中、Aさんが歌好きなこと気づく

当院回リハ病棟入院時は、両麻痺、嚥下障害、発語が困難な状況でした。嚥下障害では当初経鼻カテーテルが挿入されていましたが、徐々に全介助で経口摂取による食事開始されました。コミュニケーションはジェスチャーと文字盤で行っていましたが、思いを汲み取れず、Aさんがストレスにより手で追う払うこともありました。

スタッフが歌を一緒に歌い、Aさん「話せるようになりたい」

スタッフも病室に訪問の際に尾崎豊さんの歌と一緒に歌うようにしました。Aさんもスタッフへ

「尾崎豊の歌が歌えるようになって嬉しかった」

初めの頃は単語も聞き取れない状況でしたが、スタッフが統一してオーブンクエスチョンでAさんに問いかけたことで、発声練習での発語が次第に明瞭となり、発話内容が分かりやすくなりました。体幹筋力や耐久性も向上し、リクライニング車

患者さんの願いに寄り添い、生きる先に希望が持てる看護を

Aさんは、声が出ることで意欲向上・覚醒良好に繋がりました。発語する機会も増えました。「話せるようになりたい」という自分の願いが目標となり、毎日の生活の中でその都度自分の思いが他者へ伝わったことが意欲に繋がりました。全介助であった食事摂取も自力で摂取できるようになりました。また1日3時間のリハビリ訓練以外にもスタッフとコミュニケーションが頻りに訪室し、Aさんとコミュニケーションを

徐々に単語レベルでの発語が出来るようになり、聞き取れる回数が増え、Aさんからスタッフに「話せるようになりたい」と希望が話されました。

「話せるようになりたい」と希望が話されました。自身「思い出す」という行為とそれを「話す」



千駄の萱

嘘をついて もよい日とされるエイプリルフール。その由来は諸説あるが、一番

の有力説はフランス起源説。かつてヨーロッパでは3月25日から4月1日まで新年を祝っていた。16世紀フランスのシャルル9世が1月1日を新年と定め、これに怒った民衆が4月1日を「嘘の新年」と抗議のお祭りを始め、多くの人が処刑された。その後も「嘘の新年」として祝いつづけたことが由来とされる▼日本にエイプリルフールが欧米から伝わったのは大正時代。直訳の「4月馬鹿」として、江戸時代からの「不義理の日」(ご無沙汰して義理を欠いている人に手紙を書き、不義理を詫言る日)に代わり全国に広まった▼エイプリルフールは「人を傷つける嘘をついてはいけない」が各国の共通ルール。「嘘をついてみんなで笑い合う」のが共通認識。嘘をつくことで誰かが傷つくような状況は望まれない▼コロナ禍で会いたい人に会えない状況が続く中、江戸時代の「不義理の日」に習い、手紙やメールを送るのも良いかも。いや何よりも「人々を痛めつける嘘」が罷り通る世の中を変えていきたい。(の)